

A市の要因分析について

【医療提供体制側の要因】

・被保険者千人当たりの病院数、診療所数、病床数、医師数が県、国と比較して多い。

【被保険者の疾病(健康)要因】

- ・総医療費に占める精神疾患の割合が国と比較して高い。
- ・総医療費に占める筋・骨格関連疾患の割合が国と比較して高い。
- ・外来における、レセプト1件当たりの受診日数が県全体と比較して多い。
- ・慢性腎臓病(透析あり)の受診率について、令和1年度から令和4年度の増加率が国・県等と比較して高い。

【被保険者の行動要因】

- ・特定健診の受診率が県、国と比較して低い。健康状態不明者が一定数存在していることから、重症化してから医療機関を受診する者が多いのではないか。
- ・骨粗鬆症等、筋骨格系の疾患からロコモティブシンドロームにつながる症状を見逃している者が多いのではないか。
- ・薬の処方のためだけに医療機関を受診している、医療提供の必要がないが習慣的に医療機関を受診している等、気軽な感覚で受診する者がいるのではないか。
- ・かかりつけ医を持たない者が多いのではないか。

【行政等の支援】

・特定健診および特定保健指導の実施方法を見直して、受診しやすい環境を整備する必要があるのではないか。

A市の要因分析に基づく対応について

【保険者として力を入れていきたい項目】

- ・特定健診・特定保健指導(未受診者対策、受診環境整備)
- ・健康状態不明者へのアプローチ(状態確認、特定健診受診勧奨)
- ・ロコモティブシンドローム対策(骨密度測定、健康相談事業)
- ・リフィル処方箋の周知広報(リーフレット等の配布)
- ・香川県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく受診勧奨および保健指導

【医療費分析等により、想定した要因を深掘りしたい項目】

- ・リフィル処方箋に切り替え可能な薬の使用者数および削減額
- ・かかりつけ医を持っていない者の割合(同一診療科目で複数の医療機関受診等をしているか。)
- ・新規透析者の国保加入時期

【医療機関に呼び掛けたい項目】

- ・特定健診受診率向上に係る協力
- ・特定健診に相当する検査の情報提供
- ・K-MIX R BASIC、マイナンバーカードでの診療情報・薬剤情報・健診情報の利用

B市の要因分析について

【医療提供体制側の要因】

・被保険者千人当たりの病院数、診療所数、病床数、医師数が県、国と比較して多く、病床数は特に多い。

【被保険者の疾病(健康)要因】

・総医療費の推移、一人当たり医療費の推移をみると、令和2年度から令和3年度にかけて大きく増加している。
 ・疾病分類(中分類)別入院に係る受診率は、「症状、兆候及び異常臨床所見・異常、検査所で他に分類されないもの」「関節症」「その他の精神及び行動の障害」について、国と比較して特に高い。
 ・疾病分類(中分類)別入院に係る一人当たり医療費では、男性においては「その他の神経系の疾患」、女性においては「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も高く、標準化比はともに「症状、兆候及び異常臨床所見・異常、検査所で他に分類されないもの」が最も高い。
 ・疾病分類(中分類)別外来に係る受診率は、「白血病」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」が特に高い。
 ・疾病分類(中分類)別外来に係る一人当たり医療費では、男性においては外来医療費では「腎不全」、女性においては外来医療費では「糖尿病」が最も高く、標準化比はともに「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が最も高い。
 ・生活習慣病(重篤な疾患・基礎疾患)における受診率は、虚血性心疾患、脳血管疾患、慢性腎臓病(透析あり)、糖尿病、高血圧症、脂質異常症において、県、国と比較して高い。

【被保険者の行動要因】

・特定健診未受診者のうち、約2割が生活習慣病の治療を受けていない。

【行政等の支援】

・特定保健指導実施率が、令和元年度と比較し令和4年度は40.8%低下している。

B市の要因分析に基づく対応について

【保険者として力を入れていきたい項目】

・特定保健指導実施率の向上
 ・特定健診受診率の向上

【医療費分析等により、想定した要因を深堀りしたい項目】

・医療費の推移をみると、令和2年度までと令和3年度からで大きな差があるため、この原因を突き止めたい。
 ・入院医療費の推移をみると、令和2年度から令和3年度にかけて大きく増加している。原因としては、令和3年度に特定の被保険者が要因で増えたためと思われるが、一人当たりの医療費が高止まりしている原因が不明である。
 ・基本的に多くの疾患で各指標が高止まりしていると思われるが、保健事業の何の指標を改善すれば、どれだけ医療費が改善されるのか見込みをつける必要がある。
 ・特定健診を受診したが医療機関への受診に繋がっていないのか、特定健診未受診者が結果的に医療費を押し上げているのか、健診とは別のカテゴリーに要因があるのか、ある程度ターゲットを絞らないといけないと思われる。

C町の要因分析について

【医療提供体制側の要因】

- ・町内の医療機関が、診療所1か所のみである。
- ・診療所は専門性に欠けるため、一度町内で受診したのちに町外の総合病院や専門医を受診しているのではないか。(結果、受診回数の増加を招いている野ではないか。)
- ・診療所では化学療法等の治療は実施できないため、本来は外来治療でできる治療を入院治療しているのではないか。
- ・急性期の疾病や外傷は診療所では十分に対応できず、町外の病院へ搬送(転院)となるケースがある。
- ・町外の病院に入院する場合、入院時の準備・家族の付き添い等の都合により、入院日数が多くかかっているのではないか。
- ・専門医を受診するためには町外に出なければならぬが、「面倒」・「忙しい」・「どこを受診すれば良いか分からない」等の理由により、適切な受診ができていないのではないか。その結果、疾病が重症化し、医療費増の原因となっているのではないか。

【被保険者の疾病(健康)要因】

- ・健診結果において、国、県と比較して「BMI」「腹囲」「HbA1c」「収縮期血圧」「中性脂肪」の有所見率が高い。
- ・入院医療費について、「循環器系の疾患」のレセプト1件当たりの医療費が国、県と比較して高い。
- ・外来医療費について、「その他の心疾患」の医療費が最も高い。重篤な疾病に進行する可能性のある「糖尿病」「腎不全」「高血圧症」も上位である。
- ・「慢性腎臓病(透析あり)」の受診率は国、県と比較して高い。

【被保険者の行動要因】

- ・令和1年度～令和3年度にかけて、特定健診の受診率が県と比較して低い。
- ・検診や治療を受けない健康不明者が多いのではないか。
- ・受診勧奨対象者のうち医療機関への受診が確認されない人(未治療者)が一定数存在する。

【行政等の支援】

- ・行政の栄養相談や健康教室の参加者は75歳以上の方が多く、特定の人しか来ていない。

C町の要因分析について

【保険者として力を入れていきたい項目】

- ・特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- ・入院医療費が最も高い「循環器系の疾患」や外来医療費で上位に入っている「糖尿病」「腎不全」「高血圧症」は、保健事業により予防可能なため、受診勧奨や保健指導、健康教育等で介入していく。(重症化予防)

【医療費分析等により、想定した要因を深堀りしたい項目】

- ・入院にかかる医療費が県平均より高額な要因

D町の要因分析について

【医療提供体制側の要因】

- ・県中央部に位置しているため、町内や中讃だけでなく、県内中の医療機関に入院・通院している者が多いのではないか。
- ・後発医薬品に消極的な医療機関があるのではないか。

【被保険者の疾病(健康)要因】

- ・腎不全の一人当たり医療費が高い。
- ・精神疾患の一人当たり医療費が高い。
- ・死因別標準化死亡比について、D町において死者数が上位の死因を確認すると、
（男性）は、全国と比較して低い項目が多い。
（女性）は、脳血管疾患、腎不全、肝疾患が全国と比較して高い。
- ・令和2年度より、1回あたりの医療費が高額な被保険者が発生した。
- ・虚血性心疾患の受診率が国と比較して高いことから、生活習慣に問題がある被保険者が多いのではないか。

【被保険者の行動要因】

- ・重複受診、頻回受診が県と比較して高い。
- ・入院は、国と比較して、受診率、1件当たり日数、一人当たりの月額医療費が高いが、1日当りの医療費は低いことから、比較的簡単に入院できるのではないか。
- ・外来は、国と比較して、一人当たり月額医療費、受診率、1日当たり医療費がいずれも高いことから、1件当たり日数はほぼ同じのため、重い病気が多いのではないか。
- ・前期高齢者の加入割合が高いことから、一人当たり医療費が高い要因ではないか。

【行政等の支援】

- ・特定健診の受診率は高いが、その後の受診に繋がっていないのではないか。

D町の要因分析に基づく対応について

【保険者として力を入れていきたい項目】

- ・後発医薬品の利用促進
- ・住民や医療機関への啓発活動
- ・重複受診、頻回受診の対象者への働きかけ

【医療費分析等により、想定した要因を深掘りしたい項目】

- ・超高額レセプトが地域差指数や町の医療費水準にどの程度影響を与えているか確認した上で、医療費適正化事業を検討したい。
- ・保険者としてできることは生活習慣病対策と考えるため、生活習慣病の医療費への影響度を確認して、事業内容を検討したい。

【医療機関に呼び掛けたい項目】

- ・後発医薬品の医療機関ごとの切替率をもとにした協力依頼(特に金額ベース)